

記 者 席 配 付 資 料				
平 成 2 6 年 8 月 2 5 日				
環 境 生 活 部 若 者 女 性 協 働 推 進 室				
内 線	5	3	3	6
総 務 部 総 合 防 災 室				
内 線	5	1	6	5

### 第3回国連防災世界会議等に係る本県の対応について

平成27年3月14日（土）から18日（水）まで、仙台市で開催される「第3回国連防災世界会議（以下「国連防災会議」）」には、国連加盟193か国から、各国首脳・閣僚を含む政府代表団、国際機関、認定NGOなど5,000人以上の参加者が見込まれ、本県としては、

- 1 防災・復興に関する本県からの提言を世界に発信
- 2 防災会議開催期間中（27.3.14～3.18）において
  - (1) 仙台市内での関連事業の実施（「東北の防災・復興展」への出展など）
  - (2) 県内での関連事業の実施（シンポジウム、スタディツアー（被災地視察）など）
- 3 防災会議の直前に盛岡市で開催される、ISO社会セキュリティ専門委員会第18回総会（27.3.9～3.13）において関連事業の実施（シンポジウム）、スタディツアー（被災地視察）

などを計画しており、今後、関係機関・県内市町村等と調整を進めていきます。

#### 1 国連防災会議に係る本県の基本的な考え

今回の国連防災会議について、県としては、①復興支援に対する謝意を示すとともに、②本県の復興に向けた取組や防災・復興に関する本県の先進的事例を世界に発信し、③国際社会に対して支援の継続をお願いする重要な機会であると位置づけ、積極的に関連事業等を実施する。

#### 2 防災・復興に関する本県からの提言を世界に発信

##### (1) 内容

- ・本県の防災・復興に関する先進的な事例を踏まえた提言を取りまとめ、世界に対して情報発信

##### (2) 提言の発信

- ・県ホームページでの発信、提言を取りまとめた多言語パンフレットの作成・配付
- ・県主催シンポジウム等での発表、仙台市内・県内におけるパネル等の展示 等

#### 3 国連防災会議開催期間中（27.3.14～3.18）における仙台市内での関連事業の実施

##### (1) 「東北の防災・復興展」への出展

- ・会場：せんだいメディアテーク、会期：平成27年3月14日（土）～18日（水）
- ・東北4県（青森県、岩手県、宮城県、福島県）及び仙台市による展示等

##### (2) 地元主催歓迎レセプションへの対応

- ・会場：ホテルメトロポリタン仙台、期日：平成27年3月15日（日）
- ・県産食材、観光・物産等紹介パンフレットの提供

##### (3) 東北おもてなしセンター（国連防災会議参加者への情報提供等）への対応

- ・会場：国連防災会議会場内、会期：平成27年3月14日（土）～18日（水）
- ・県産食材、観光・物産等紹介パンフレットの提供

裏面あり

#### 4 国連防災会議開催期間中（27.3.14～3.18）における県内での関連事業の実施

##### (1) シンポジウムの開催

- ・会場：一関市内、期日：国連防災会議開催期間中で調整中
- ・テーマ「文化財と防災」
- ・内容
  - ① 世界遺産平泉の視察（視察終了後、一関市内会場へ移動）
  - ② 本県郷土芸能の実演
  - ③ 本県の復興状況報告、本県からの防災・復興に関する提言（達増知事）
  - ④ 専門家による講演・パネルディスカッション等

##### 【コーディネーター】

前ユネスコ事務局長 松浦 晃一郎氏

##### 【テーマ】

〔日本における文化財と防災について〕

立命館大学 土岐 憲三教授（京都大学名誉教授）

※第2回国連防災世界会議における学術界の取りまとめ役を務めたほか、日本土木学会理事・副会長、日本自然災害学会会長、日本地震工学会会長などを歴任。

〔世界的視点から見た文化財と防災について〕※発表者等詳細は今後決定

〔世界遺産平泉における防災について〕※発表者等詳細は今後決定

- ・対象：各国政府関係者、国際機関関係者、NGO・NPO、一般市民等

##### (2) スタディツアー（被災地視察）の実施

- ・視察先：沿岸3コース
- ・期日：平成27年3月16日（月）～18日（水）（各日1コース）

##### (3) 展示コーナー・インフォメーションセンターの設置（シンポジウム会場内に設置）

- ・本県の防災、復興、平泉、ILC等に関するパネル等の展示
- ・被災地へのアクセス情報、本県の観光物産情報等の提供

#### 5 ISO社会セキュリティ専門委員会第18回総会における関連事業の実施

##### (1) 総会概要

・ISO社会セキュリティ専門委員会は、緊急事態、災害への対応能力を高めるための国際規格の開発を行っており、第18回総会が平成27年3月9日（月）から13日（金）まで、盛岡市（会場：アイーナ等）で開催。日本での総会開催は今回が初めて。世界66か国から最大120名が参加見込み。

・国連防災会議との相乗効果や本県から世界の防災専門家に情報発信ができることから、県として積極的に誘致し協力するもの。

##### (2) 本県主催関連事業

###### ① シンポジウムの開催

- ・会場：盛岡市内、期日：平成27年3月8日（日）
- ・本県からの提言発表、本県復興状況報告、総会参加者との意見交換等

###### ② スタディツアー（被災地視察）の実施

- ・視察先：沿岸2コース、期日：平成27年3月11日（水）

〔本件問い合わせ先：環境生活部若者女性協働推進室 阿部・千葉 内線 5336〕  
：総務部総合防災室 福士・大畑 内線 5165